

環境を切り口とした経済・社会構造の変革を通じて、あるべき日本の姿を提示し、活力ある日本を取り戻すきっかけとするものとして、斉藤鉄夫環境大臣は4月20日に「緑の経済と社会の変革」を取りまとめました。

その具体的な施策について、以下の6つの柱に沿ってご紹介します。

緑の消費の変革

- ・エコポイントの活用により省エネ家電への一斉買い換えを促進
- ・次世代省エネ住宅・ビルの建設などへの支援を実施
- ・次世代自動車などの購入費用を支援
- ・バイオ燃料供給のために必要な設備や急速充電設備の普及を促進 など



名古屋市燃料電池自動車「エコ・MY・カー」

緑のアジアへの貢献

- ・アジア・太平洋の途上国での環境対策の進展のため、国際環境協力を展開
- ・アジアの都市などから数カ所の環境モデル都市を選定し、集中的に支援
- ・浄化槽や尿処理施設など日本のし尿処理システムの普及を促進
- ・東アジアを中心とした重要サンゴ礁ネットワーク戦略の策定を推進 など



「北東アジア環境パートナーズフォーラムinとやま」の開催
(平成19年12月)

緑の社会資本への変革

- ・公共施設に太陽光発電を設置し環境教育を実施
- ・歩行空間、自転車利用環境、LRT^(注)などの「次世代交通インフラ」を整備
- ・漂流・漂着ゴミ地域連携対策を推進
- ・里川地域での水環境改善と地域の水文化復活への取り組みを推進
- ・CO₂の吸収源である森林の整備・保全を推進 など

(注) Light Rail Transit : 都市内の道路交通渋滞緩和と環境問題の解消を図るために導入が進められている新しい軌道系交通システム



太陽光市民共同発電で搭載した太陽光パネル
(飯田市立鼎保育園)

緑の地域コミュニティへの変革

- ・地域グリーンニューディール基金の創設などにより環境保全型の地域づくりを支援
- ・電動アシスト自転車などの活用を含めた持続可能なコミュニティサイクルシステムを導入
- ・生物多様性の視点から里地里山の保全方策を検討し、地域コミュニティによる取り組みを促進
- ・リペア・リユース・リサイクルについて、地域に根ざしたコミュニティビジネスの先進事例の事業支援を実施 など



ススキの刈取り(勝山市)

緑の投資の変革

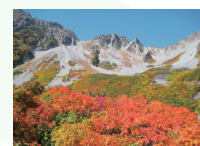
- ・排出量取引の試行実施を着実に運営
- ・カーボン・オフセットのルール策定や普及啓発、相談支援などを実施
- ・カーボンフットプリント制度を推進
- ・コミュニティファンドなどによる環境プロジェクトへ投資を促進
- ・廃小型家電などからのレアメタルの適正かつ効果的なリサイクルシステムの構築を促進 など



輪島門前コミュニティウインドファーム完成予想図
提供：株式会社市民風力発電

緑の技術革新

- ・高効率で火力発電の発電コスト並みの低コストの革新的太陽電池を開発
- ・中小水力発電などの再生可能エネルギー技術や省エネ冷凍空調機器などの省エネ技術を開発・実証
- ・自然生態系や都市生活などの幅広い分野において、気候変動の影響の詳細な予測・評価を実施
- ・生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に向けた情報収集・分析と提供を実施 など



生物多様性を育む中部山岳国立公園(松本市)

これらの施策を実行に移すことで、2020年までに、環境ビジネスの市場規模が70兆円から120兆円に、雇用規模が140万人から280万人に、それぞれ拡大することが期待されています。

更に詳しく知りたい方は、環境省ホームページ(<http://www.env.go.jp/guide/info/gnd/>)をご覧ください。

6月は環境月間です

環境省の主唱により環境の日(6月5日)を含む6月の1か月間を「環境月間」とし、全国で様々な行事が行われます。



環境の日は、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたもので、6月5日を「世界環境デー」としており、日本では「環境基本法」において「環境の日」と定めています。

様々な環境行事に是非参加していただき、環境のことを考える一つのきっかけを作ってみませんか。

『平成21年版 環境白書』が公表されました

6月2日に『平成21年版 環境白書(環境・循環型社会・生物多様性白書)』が閣議決定され、公表されました。今年の白書では、生物多様性基本法が制定された後、初めての白書であり、新たに「生物多様性の保全及び持続可能な利用」が環境の保全・循環型社会の形成といった柱に加わり、3本柱の構成となりました。

今年の白書では「地球環境の健全な一部となる経済への転換」をテーマとして環境と経済が持続的に発展する社会を作る新しい環境経済対策の在り方について訴えるとともに、循環型社会白書では「3Rを組み込んだ新しい経済の姿」を、生物多様性白書では「私たちのいのちと暮らしを支える生物多様性」をポイントとして記述しています。

『環境白書』には、環境に関する最新の情報や施策が記載されています。一般の書店でも販売されますので、是非ご覧ください。